

第1学年3組 社会科 学習構想案

日 時 令和7年2月21日（金）第5校時

場 所 甲佐中学校 1年3組教室

指導者 教諭 酒井 健太郎

1 単元構想

単元名	第2章 世界の諸地域 5節 南アメリカ州 東京書籍 p.114～125		
単元の目標	(1) 南アメリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を身に付ける。 (2) 南アメリカ州の探究課題を追究していく過程において、その地域的特色と課題を多面的・多角的に考察し、表現する。 (3) 南アメリカ州の地域的特色を理解するために、「開発と環境保全」という地球的課題に関連した探究課題を設定し、主体的に追究する。		
単元の評価規準	知能・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	南アメリカ州について、自然環境や文化、経済の発展と森林の減少などの特色を概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解している。	南アメリカ州の課題解決に向けて、自然と共生する生活と、開発による経済発展を両立させる、持続可能な開発という観点から考察している。	南アメリカ州について概観する中で、特に開発の進展と環境保全の問題に関心を持ち、設定された探究課題を主体的に追究している。
単元終了時の生徒の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
南アメリカ州の経済発展と環境保全の在り方について、設定された探究課題を主体的に探究し、自分なりの納得解を見つけている姿。			
単元を通した学習課題（単元の中心的な学習課題）		本単元で働かせる見方・考え方	
南アメリカ州の人々は、「経済発展」と「環境保全」の、どちらを大事にすべきなのだろうか。		南アメリカ州で見られる地球的課題の要因や影響を、州という広がりや地域的の結びつきに着目して、地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察すること。	

2 単元における生徒の実態

学習指導要領における該当箇所（内容、指導事項等）		
学習指導要領〔地理的分野〕のB「世界の様々な地域」の(2)「世界の諸地域」を受けて設定されており、主題の追究を通じてそれぞれの州の地域的特色を大観して理解させるとともに、地球的な課題の要因や影響について探究させることをねらいとしている。		
研究テーマにせまる生徒の学びの実態		
①本単元の学習に関する意識の状況〔非認知能力アンケート結果より〕		（／5.00）
調査項目	7月	10月
自己調整学習スキル（学習内容や方法を選択し課題解決する力）	4.06	3.70
粘り強さ（あきらめずに粘り強く取り組む態度）	3.97	3.66
内発的意欲（主体的に取り組む態度）	4.26	4.02
②考察		
3項目ともに平均的に高い傾向だが、10月には数値の低下がみられた。学校生活や学習活動の日常化が「慣れ」を生んでいることが一因と考察される。この実態をふまえ、生徒が自己の学習を調整しながら、粘り強く課題解決へ向かう授業を仕組み、内発的意欲を高められるような「楽しい授業」づくりを目指したい。		

3 指導に当たっての留意点（校内研修の重点事項）

① 楽しい授業づくりの工夫

教師が資料の提示を提示する際や、生徒が意見を比較したりグループで活動したりする際に、タブレットPCやロイロノートを活用して、資料や自他の考えを視覚的に捉えやすくする（分かりやすくする）。

② 終末の工夫

単元を通した課題に対して、1時間毎や単元終了時に自分の考えをまとめる時間をとり、生徒が自分の考えの変容や深まりを感じられるようにする。

4 本時の学習 (4 / 4)

(1) 目標

グループで「持続可能な社会」という観点で話し合う活動を通して、南アメリカ州の経済発展と環境保全の在り方について、自分の考えを書くことができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習の目的・意図, 内容, 方法等)
導入	5	1 前時の復習をする。【チェックタイム】 2 めあて・学習課題の確認をする。	○スライドを使い、既習事項を確認する。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">【めあて】南アメリカの在り方について、自分の考えを書くことができる。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【学習課題】 南アメリカの人々は、「経済発展」と「環境保全」の、どちらを大事にすべきなのだろう。</div>	○本時の学習への関心意欲を高めるために、写真や資料を提示し、自分の考えをもつことが(単元や本時の)ゴールであることを明確にする。
展開	10	3 学習課題に取り組む。 ①個人やペア、小グループで考える。 【シンキングタイム】 ◇GDP が低いから、経済発展が必要。 ◇実際に生活は近代化している。 ◇森林伐採は、生態系を崩し、世界の空気浄化を阻んでいる。 ◇南アメリカの人だけが、開発できないのはおかしい。	○ロイロノートで、学習シート(XチャートやYチャートなどの思考ツール)を用意し、「持続可能な社会」という観点で、要因を整理できるようにする。 ○離席も可とし、自由な意見交換を促す。 ○課題が難しい生徒には、教師と一緒に考えるスペースを設ける。
	10	②グループで意見を出し合う。 【アクションタイム】 <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">【期待される学びの姿】 班で考えを出し合いながら、「経済発展」と「環境保全」の在り方について思考している姿。</div>	○ロイロノートの共有機能を使い、班の意見を整理させる。端末は代表の生徒が動作するように指示する。 ○話し合いが進んでいる班には、要因の大きさ順に順位付けをさせるようにする。
	10	③全体で意見を共有する。	○ロイロノートで共有する。班の意見を比べさせ、共通点や相違点に着目させる。
終末	5	4 話し合いをもとに自分の考えを書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">【まとめ】 ・<b>経済発展</b> なぜなら、GDP が低く、生活を便利に豊かにしたいと思うから。南アメリカの人には、開発する権利があるはず。 ・<b>環境保全</b> なぜなら、森林伐採が起きたり、生態系が乱れたりしている。地球規模で考えて、これは持続可能とは言えない。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">【具体の評価規準】観点【思・判・表】 南アメリカの在り方について、グループでの話し合いをふまえて、自分の考えを書いている。(方法：学習シート)</div> <div style="margin-top: 5px;">【到達していない生徒への手立て】 ○机間指導を行いながら、キーワードを使って書くように助言する。</div>
	10	5 本時や単元全体の振り返りをする。 【チャレンジタイム】	○単元の追究シートに、本時の学びを整理する。

